

群馬イノベーションアワード2022 トップ座談会⑥【最終回】

GUNMA INNOVATION AWARD 2022

起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード(GIA)2022」トップ座談会の最終回は、座長の鳥越淳司相模屋食料社長ら7人が「イノベーションの先にあ

るもの」をテーマに、それぞれの事業内容を深め、変革することで見出される新たな可能性や今後の展望について意見を交わした。

新たな可能性を追求



相模屋食料社長 鳥越 淳司氏

とついでに、じゅんじ。1973年、京都市生まれ。96年、雪印乳業に入社。2002年に相模屋食料に入社、07年から現職。大豆加工食品を製造販売。革新的な商品を打ち出し、業界トップ企業として成長を続けている。

豆腐には「変化の余地がない」と多くの人が考えるだろう。だから「プラントベースフード」が注目されている。大豆が原料の豆腐は世界の潮流を先取りした食品といえる。日本の

豆腐の開発に勝機

新しい豆腐の世界を、伝統食品のすゝみを多くつくりたい。初めは滑らかな人に気付いてもらい、徐々に味を再現し、さらにも、その可能性を証明したい。これから商品開発に力を入れた「豆の面白さを追求していく」。



アサヒ商社社長 広瀬 一成氏

ひろせ・かずしげ。1976年、高崎市生まれ。航空貨物会社を経て、祖父が創業したアサヒ商社に2009年入社。3代目社長に就任した。文具・OA機器、オフィス家具などを販売している。

社内にIT人材を

前橋、高崎、伊勢崎に文房具専門店「ハイノート」を展開するほか、IT・デジタルを活用したワークスタイルの提案事業を進める。デジタル化が進む中で、課題解決する

社内にIT人材を、ための創造力は磨かれ、社内には教育が最も大事だ。お客さまにアイデアを提供し、イノベーションを起こす手助けをしていきたい。

太陽光発電にこだわった住宅を提案している。光熱費0円を目指す家」が好評だ。より4割削減した搭載率の二酸化炭素(CO₂)排出量をマイナスにする「LCCM住宅」を、寄居町に58区画の分譲住宅の建設を進めている。全ての住宅に太陽光パネルを設置。街並みが一つの発電所として機能するような家づくりを進めている。

街並みを発電所に



石田屋社長 石田 昌嗣氏

いしだ・まさつぐ。1977年、旧鬼石町(現藤岡市)生まれ。都内の不動産会社勤務を経て、2002年に石田屋入社。パナソニックビルダーズグループに加盟し、本県、埼玉県北部で戸建て住宅を建築。22年から現職

おおくま・のりゆき。1961年、旧榛名町(現高崎市)生まれ。全国食肉学校卒。81年に食肉加工業の大ミート入社。2000年に同社社長に就任。鳥・フーズと合併、オリーブに社名変更し、09年から現職



オルビス社長 大熊 章之氏

継続的改善に奮闘

食肉、青果、惣菜が経営の3本柱。惣菜の商売を進め、メニューの存在を目指している。主力のローストビーフに関して、肉屋の視点から本にまどめ、継続的改善に努める。

ユニチュープで授業の場を提供すること、無料公開され、人工知能(AI)による効果的な教育が展開されるなど、塾の存在意義や授業の価値が大きく問われ始めている。

学ぶ楽しさ伝える

しほさき・おほみ。1982年、安中市生まれ。大学卒業後、他の学習塾勤務を経て2011年、うすい学園に入社。PISA型学力を育成する同塾の運営に携わる。12年から教室長、18年から現職



うすい副社長 柴崎 大海氏

さわむら・しゅうじ。1964年、昭和村生まれ。高校卒業後、県畜産試験場の研修を経て20歳で養豚と畑作に従事。著書に「農業で成功する人々(うまいかない人)」「タイヤモンド社」など



グリーンリーフ社長 沢浦 彰治氏

情報集め安定生産

全国に農業の関連会社や農場があり、年間を通して野菜の生産販売をしている。この発生したトンガ沖の海底火山の噴火に伴い、日照量(太陽光の強さ)が2割減少している。作物に多大な影響を及ぼすとの仮説を立て、安定的に食料を生産し、届ける責任を果たすため、情報収集と早期対策に努めた。

月極駐車場の専門会社で、高崎市を中心に駐車場790カ所、車両数1万1千台を管理する。駐車場の検査や管理の引き継ぎ、法人向けの契約サポートを、消費者が感じる価値を知ること、事業者の商品開発に役立ててもらおうと取り組んでいる。

食品の自販機拡大



駐車場をさがせ社長 船越谷 尚彦氏

ふなこしや・なおひこ。1984年、札幌生まれ。大学在学中2度の起業を経て2009年から現職。新事業「自販機をさがせ」でGIA2021スタートアップ賞受賞。日本駐車場整備推進機構代表理事

12月4日(日)ファイナル観覧募集

16組がプレゼン ダンスやトークショーも

「群馬イノベーションアワード(GIA)2022(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)」のファイナルステージが12月4日、前橋市の日本トーターグリーンドーム前橋で開かれる。一般の観覧募集を受け付けている(12月1日まで)。申し込みは専用サイト=右記コード=へ。

ファイナルステージは午前11時半開場、午後1時開演。午後2時40分から、安中総合学園、健大高崎、高崎工業、樹徳の県内4校による「高校生ダンスコラボパフォーマンス」を開催。午後3時15分からGIA10周年記念企画として、実行委員によるパネルディスカッションが行われる。会場内ではGIA協賛社や歴代入賞者らが出展する「群馬イノベーションマーケット」も同時開催される。問い合わせは事務局(☎027・254・9955)またはGIA専用サイトへ。

各部門ファイナリスト紹介

今年のGIAのエントリー数は、3年連続500件を超える522件。同プロジェクトに協賛する金融機関「フィナンシャルサポーター」が1次審査を担い、計50組が1次書類審査を通過。2次審査はパワーポイントによる3分間のプレゼンテーションを実施し、実行委員長を務めるジズホールディングスの田中仁CEOら実行委員がファイナリストを選出した。

起業や第二創業を目指す「ビジネスプラン部門」は高校生の部3組、大学生・専門学校生の部3組、一般の部5組。創業5年未満の起業家が対象の「スタートアップ部門」は3組、創業5年以上の事業者の「イノベーション部門」は2組。計16組がファイナルステージに登壇する。

■スタートアップ部門

- 桜井蓮 (FUTURENAUT) 食用コオロギで実現する持続可能なたんぱく生産と社会実装
- 横山全希 (OZ) 選ばせない購入体験で古着の新たな流通を作る。サステイナブルなアパレル事業
- 中屋智博 (彩園なかや) 「農業×データサイエンス」過去と経験から未来を見据える農業

■イノベーション部門

- 梶栗隆弘 (エリール) 遊休農地/施設と廃棄農作物を用いた混合農業による食・繊維の生産モデル
- 平湯聡 (大和屋) GLOBAL COFFEE GU NMA 高崎産コーヒーからはじまる、三方良しの革新

■一般の部

- 宮川莉奈 (Fine Feathers) 妊産婦へのサポート「切れ目ない支援」を群馬のホテルから
- 小阿瀬夏子 (INOS) (2023年設立予定) S/M/L DRIVE THRU FOOD DELI
- 村山賢哉 (共愛学園前橋国際大) 知的好奇心を刺激して日本社会の学習を変える「MASH-U」
- 松前博恵 (みらい・わたし研究所) 「一生ものの親友」をメタバースで、AIマッチング!
- 奈良のりえ (フリーアナウンサー) 誰もが参加できる優しいメタバースサロン~あなたのポテンシャルを引き出す~

■高校生の部

- 小林花笑、相馬大輝 (渋川工業高3年) CASEからSDGs創生へ! ~自動低速電動キックボード開発~
- 久保田美波、長瀬華 (市立太田高3年) OpenCompany:高校生と企業の知りたい伝えたいを解決
- 蟻川宙生 (四ツ葉中等5年) Cool Our Earth~根粒菌で農業に革新を!~

■大学生・専門学校生の部

- 加藤賢代 (中央農業大学校2年) ボイセンバリー垣根で作物を鳥獣害から守り、副産物を加工販売する。
- 渡辺光祐 (慶応大2年) HamKatsu~留学生の物件契約のインフラを創る~
- 佐藤陽菜 (共愛学園前橋国際大3年) ライブ配信で一緒に働きたい人を探せ!「LOOK@ME」